

(別添)

豚及びいのししに係る大臣指定地域の指定について（案）

1. CSF 予防的ワクチン接種推奨地域（以下「推奨地域」という。）は、野生いのししにおけるCSF感染状況、農場周辺の環境要因（野生いのししの生息状況、周辺農場数、豚等の飼養密度、山、河川の有無等の地理的状況）を踏まえ、CSFの発生リスクが高い地域を設定する旨を「豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針」（令和2年2月5日農林水産大臣公表。）第3-3の2で規定している。
2. さらに、推奨地域の設定に当たっては、牛豚等疾病小委員会での議論を踏まえ、
 - (1) 農場の環境要因（いのしし感染区域との地域的なつながり、農場の密度等に加え、同区域との畜場等の畜産業や養豚業との関連性の強さ）を考慮し、今後、感染拡大が想定される地域
 - (2) 発生農場での検査結果等から、感染から長期間経過したと判断され、野生いのししへのウイルスがすでに侵入していることが否定できない地域

をそれぞれCSFの発生リスクが高い地域として、推奨地域に設定した。

3. 今回、上記1～2の考え方を踏まえ、現在、推奨地域に設定されている下記の24都府県の区域（ただし、野生動物の生息状況及び島しょ、都市部等の地理的要件により指定する必要がないと判断する市町村は、事前に動物衛生課と協議の上、除く。）をCSFの発生リスクが高い地域として、豚及びいのししに係る大臣指定地域に設定する。

記

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、沖縄県

以上